



大学概要 INTRODUCTION

■名古屋市立大学 Nagoya City University

開学: 1950年(医学部・薬学部より始まり)
7学部・7研究科(大学院)の総合大学

学生数: 学部生3,883名、大学院生735名
(計4,666名)

教員数: 647名

職員数: 2,911名

(令和3年5月現在)

大学データ UNIVERSITY DATA

科研費…7億7千万円(R2年)

教員ひとり当り学生数…7名

学位授与者数…修士4,637名、博士3,751名

全学部就職率…98.9%
(医学研究科修士課程進学・就職率: ほぼ100%)

外国人学生…155名(3.3%)

(令和3年5月現在)

図書館・総合情報センター LIBRARY

4つのキャンパスに分館があり全館の情報検索が可能(website参照)

86万冊、雑誌1.3万種類

午前9時から午後9時(土日は午後5時)



生協
UNIV. CO-OP

購買・書籍・食堂・旅行サービスなど

購買: 午前8時45分～午後5時(平日のみ)

食堂: 午前11時～午後2時半(平日のみ)

アドミッション・ポリシー ADMISSION POLICY

高度な専門性(知識と技術)と国内外で活躍する意欲と適性を備えた多様な能力や経歴を有する人材を広く求める。

減災・医療コース

救命救急士や理学療法士を例とした医療職や、企業・自治体・学校の減災担当でキャリアアップを目指す人などを対象に、講義・実習・演習を通じて減災・医療の分野で活躍する人材の育成を目的としたコース。

大学院修士課程

MASTER'S PROGRAM, GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES

特色

平成20年(2008年)設置

基礎医学と臨床医学を統合した学問体系

基礎系、臨床系合わせて30以上の研究分野

指導的な役割を担う研究者や技術者を養成

少人数の教育システム

社会人学生にも対応(夜間開講講座あり)

博士課程進学希望者を支援(奨学金への応募)

入試情報

4月あるいは10月の入学が可能

年間3回の受験チャンスあり(定員10名)

求める学生像 DESIRABLE STUDENTS

最先端の医学・医療及び生命科学に強い関心をもつ人

先駆的・独創的な研究者あるいは高度専門技術者を志す人

自然科学の基礎分野における十分な学力を有する人

学習や研究に主体的・自律的に取り組む意欲を持つ人

修得しておくべき知識の水準と内容

REQUIRED KNOWLEDGE

自然科学分野の大学教養レベルの知識

生命科学分野の研究を理解し議論できる基礎知識

欧文論文読解に必要な英語能力

在籍者と所属分野(研究室)

2年生:7名(男3・女4)

(令和3年5月現在)

環境労働衛生学 1名 公衆衛生学 1名

臨床医療デザイン学 2名 神経発達・再生医学 2名

新生児・小児医学 1名

1年生:8名(男5・女3)

環境労働衛生学 1名 公衆衛生学 1名

認知症科学 1名 神経生化学 2名

神経発達・再生医学 1名 薬理学 1名

病態モデル医学 1名

出身大学と学部

最近10年間(H24～R3年度4月)の入学者(75名)について

《出身大学例》

名古屋市立大学、名古屋大学、中部大学金城学院大学、京都産業大学、富山大学、愛知学泉大学、大阪市立大学、京都大学、倉敷芸術科学大学、埼玉大学、志學館大学、帝京大学、東海学園大学、名古屋保健衛生大学、名古屋学院大学、日本福祉大学、福井県立大学、放送大学、前橋工科大学、宮崎大学、関西福祉科学大学、名古屋医科歯科大学、東京理科大学、創価大学、静岡大学、筑波技術大学など、岐阜医療科学大学、千葉大学、同志社大学、東京薬科大学、各専門学校、海外大学など

《出身学部例》

医学部(保健学科など)、工学部、理工学部、理学部、農学部、バイオサイエンス学部、生物資源学部、総合生命科学学部、生命科学部、生命健康科学部、健康科学部、人間健康学部、生活科学部、生活環境学部、家政学部、福祉経営、衛生学部、教養学部、保健医療学部、芸術工学部、経済学部、薬学部、看護学部、保健学部、文学部、応用生物学部、リハビリテーション学部、その他(専門学校及び海外大学など)

修了要件

DEGREE REQUIREMENTS

■ 共通教育科目(16単位)

昼間開講:①生理系医学基礎、②病理・社会系医学基礎、③実験手法概論、④臨床医学概論、⑤社会医学系基礎、⑥Basic medical science1(英語)、⑦Basic medical science2(英語)

夜間開講:⑧臨床医療デザイン学概論、⑨臨床医療デザイン学特論、⑩最新医学特論、⑪臨床基礎特論、⑫総合認知症特論、⑬緩和/終末期ケア特論、⑭減災・医療学概論、⑮減災・医療学特論Ⅰ、⑯減災・医療学特論Ⅱ 上記16科目のうち7科目を選択

■ 演習・特別研究(16単位)

※1科目(2単位):15講義/学期

■ 修了要件

但し、⑭～⑯は減災・医療コース対象

上記30単位を修得の上、学位論文を提出し最終試験に合格すること

※プログ्रेस発表会:2年次初めに研究内容の中間発表を行う

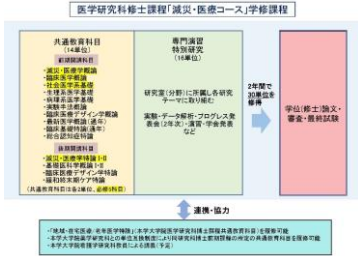
減災・医療コース

学修課程と学位

医学研究科修士課程の修了要件に準ずるため、いずれかの分野(研究室)に所属した上、本コースに2年以上在学し、共通教育科目14単位、専門演習および特別研究16単位の計30単位取得後に学位論文を提出し審査及び最終試験に合格すると、修士号が授与される。

必修科目

右図の共通教育科目中、黄色でハイライトされた5科目を必修科目とする。また修士課程の共通教育科目は7科目/14単位取得が修了要件となることから、同5科目以外に2科目を選択し履修すること。



修了後の進路

CAREER PATH

最近5年間(H28~R2年度)の就職先・進路例

(修了者36名)

- ・医療機関(言語聴覚士/臨床検査技師/理学療法士/看護師等): 名古屋赤十字病院、稲沢厚生病院、東部医療センター、名古屋医療センター、大同緑クリニックなど
- ・一般企業(研究職・技術職等): 塩野義製薬株式会社、株式会社日本電産、日本特殊工業株式会社、PCIソリューションズ株式会社など
- ・進学(博士課程・博士後期課程): 名古屋市立大学大学院(医学研究科・芸術工学研究科)、筑波大学大学院人間総合科学研究科など

就活体験レポート: 医学研究科HP

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/education/m_recruits.html

入試情報

INFORMATION FOR ENTRANCE EXAM

外国人の志願者は英語もしくは日本語で受験できます。(筆記試験及び面接試験)

事前に分野責任者(研究室の教授)と相談し了承を得た上で出願してください。(研究室の詳細は募集要項参照)

ご自身の希望する研究室が未定の方は相談に乗ります。

一般選抜

募集人数: 推薦特別選抜と併せて10名(詳細は募集要項)

最先端の医学、医療および生命科学に強い関心のある人。

研究者、専門技術者をめざす人。

学習や研究に主体的に取り組む意欲のある人。

試験科目: 英語、基礎科学、面接

出願期間と方法: (2回目) 令和3年12月2日(木)から9日(木)必着
(郵送のみ)

試験日: (2回目) 令和4年1月19日(水)

問合せ先

FOR MORE INFORMATION

過去問は医学研究科Websiteで公開しています。

入試手続き等の質問は学生課入試(853-8020)もしくは
は教育研究課大学院担当へお尋ねください。

※出願前に、志望分野の教員と連絡を取り、必ず了解
を得てください。教員への連絡先は以下の「研究指導教
官及び研究内容」を参考にすること。

https://www.nagoya-cu.ac.jp/med/education/m_outline.html

奨学金 SCHOLARSHIP

■田中亮学生奨励賞奨学金...各年額30万円

対象: 修士課程の学生で学業成績・人物共に優れている者

H29年 2年生2名 H30年 2年生1名

R1年 2年生1名

■明石修三学生奨学金...授業料1年分相当額(現行535,800円)

対象: 修士課程から博士課程へ進学した者

H29年 1名 H30年 2名

R1年 2名 R2年 1名

奨学金受給者の声: 医学研究科WEB

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/education/lifesupport.html>

国際学会発表支援事業(大学院生)

海外で開催される国際学会に参加し自ら研究発表する
場合において必要となる旅費の一部を支援することに
より、学生の学術研究活動の国際化の推進を図ること
を目的とします。

学会開催時期により第1次から4次までの募集

医学研究科実績: 21名(R1年度)